

緋 牡 丹

第69号
 令和3年7月発行
 発行者 福島県立 須賀川桐陽高等学校
 PTA会長 安田 幸治



PTA 会長
安田 幸治

令和三年度のPTA会長を拝命いたしました安田幸治と申します。日頃よりPTA活動に対するご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。今年も、コロナウイルスの猛威により、学校生活のさまざまな活動に影



校 長
橋本 忠広

この四月に須賀川桐陽高校に着任いたしました。県内にある多くの高校の中で、本校に赴任し、桐陽高生、保護者の皆様と出会えたことを嬉しく思い、感謝申し上げます。

いわき市小名浜で育ち、前任校は南会津高校でした。須賀川の地は目新しいことが多く、四月から須賀川の郷土資料を図書館から片端から借りて読み、須賀川の歴史と伝統についての知識を深めました。現在、郡山を中心とした文化圏に須賀川は接していますが、須賀川の歴史と文化は、独自の誇るべきものがあり、大切にしていきたいと思います。

響を及ぼしています。その中においても、対策を講じることで実施できる活動も増え、少しずつ状況が改善されつつありますが、これまでの日常が決して当たり前ではないことをあらためて考えさせられることとなりました。状況は今後も日々変化していきませんが、学校、保護者、生徒がそれぞれの立場で予防対策を行い、活力ある学校生活を取り戻していきましょう。

さて、高校生活の三年間は、多くの活動を通じて学び考える、かけがえのない時期であり、そのさまざまな経験がこれからの人生においても大きな糧となり、新役員一同、より良い学習環境の整備に向け努めて参りますので、引き続きPTA活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

校においても、須賀川女子高校からの素晴らしい伝統があり、これからの令和の時代も、大事につなげていかななくてはならないと考えています。一学期が始まって最初に驚いたのは、朝の時間から机に向かい学習に取り組む生徒諸君の素直で真面目な姿勢と、熱心に指導にあたり生徒を支える先生方の志でした。昭和三十八年に須賀川女子高校を創設したときから、今に続く伝統校の大きな柱を感じ取りました。

昨年度からのコロナ対策によって学校行事も制限されています。長く継続してきた校内合唱コンクールも四月の段階では開催する計画をあれこれ練っておりましたが、五月の感染拡大で、二年連続の中止とせざるを得ませんでした。生徒諸君の落胆を思い、教職員も残念でなりません。合唱コンクールは、昭和四十七年



▲昭和47年 第1回校内合唱コンクールの様子
 「はじめてのコンクールに美声が流れる。」第32号須女高新聞より

令和3年度 役員名簿

※PTAの会計・会計監査は後援会及び国際交流後援会の会計・会計監査を兼ねる

父母と教師の会	
会 長	安田 幸治
副会長(3学年)	岡部 幸子
〃(2学年)	藤田 元
〃(1学年)	新妻佐千絵
〃(教 頭)	毛利 英雄
会 計	猪越 和貴
会 計 監 査	稲垣美智子
〃	佐藤 睦美
〃	野地 陽子

後 援 会	
会 長	前田ゆかり
副 会 長	高木 寿子
〃	太刀野至伸
〃	添田 昌孝
国際交流後援会	
会 長	南條 弘嘉
副 会 長	野崎 珠美
〃	遠藤 一良
〃	太田くみ子



新型コロナウイルス 感染予防のために
 今年度新たにタブレット型サーマルカメラを生徒昇降口に一台、非接触型体温測定器が各学年に一台ずつ導入されました。体調の変化にいち早く気が付くよう活用していきたいと思っております。



本校では6月下旬よりエアコンが本格的に稼働しました。常に窓やドアを少し開けておくようにはしておりますが、換気のタイミングの見える化をより図るため、CO₂モニターを各教室に設置しました。1,000ppmを超えたらすぐに換気をするよう保健委員の生徒が呼び掛け、適切な換気に努めています。

今後も生徒が安心して学校生活を送れるよう支援していきます！